

## IBM Db2 on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Cloud は、「クラウド・サービス」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

### 1. クラウド・サービス

IBM Db2 on Cloud オファリングでは、オンライン・トランザクション処理 (OLTP) 用に最適化された Db2 データベースが提供されます。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。

本「クラウド・サービス記述書」は、以下の「IBM クラウド・サービス」を対象としています。

#### 1.1 IBM Db2 on Cloud Fixed-Size のオファリング

##### 1.1.1 IBM Db2 on Cloud High Availability 2.8.500

8GB RAM および 2 vCPU の、冗長の専用仮想サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB のストレージを提供します。

##### 1.1.2 IBM Db2 on Cloud High Availability 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

##### 1.1.3 IBM Db2 on Cloud High Availability 48.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

##### 1.1.4 IBM Db2 on Cloud 2.8.500

8GB RAM および 2 vCPU の専用サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500 GB のストレージを提供します。

##### 1.1.5 IBM Db2 on Cloud 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

##### 1.1.6 IBM Db2 on Cloud 48.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

#### 1.2 IBM Db2 on Cloud Flex のオファリング

##### 1.2.1 IBM Db2 on Cloud High Availability Flex

「HA Flex プラン」は、高可用性構成で使用する「基本 Flex プラン」のレプリカです。これには、サービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベースとともに、4GB RAM、1 つの「コア」、データとログ用の 2GB のストレージが含まれます。

### 1.2.2 IBM Db2 on Cloud High Availability RAM Flex

「RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれる RAM 以外に毎月 1 ギガバイトの RAM が追加で提供されます。

### 1.2.3 IBM Db2 on Cloud High Availability Storage Flex

「Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月 1 ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### 1.2.4 IBM Db2 on Cloud Flex

この「基本 Flex プラン」には、サービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベースとともに、4GB RAM、1 つの「コア」、データとログ用の 2GB のストレージが含まれます。

### 1.2.5 IBM Db2 on Cloud RAM Flex

「RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれる RAM 以外に毎月 1 ギガバイトの RAM が追加で提供されます。

### 1.2.6 IBM Db2 on Cloud Storage Flex

「Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月 1 ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### 1.2.7 IBM Db2 on Cloud Unlimited IO Flex

「Unlimited IO Flex」は、「基本 Flex プラン」で使用された「イベント」およびオプション「HA Flex プラン」で使用された「イベント」に対して課金します。

## 1.3 IBM Db2 on Cloud BYOL のオフリング

Db2 on Cloud Bring Your Own License (BYOL) オフリングには、上記の Db2 on Cloud オフリングと同じ構成が含まれていますが、お客様がこの「クラウド・サービス」で使用するためにはオンプレミス・ライセンスを所有している必要があります。詳細については、第 7.5 項「Db2 on Cloud BYOL に適用される条件」を参照してください。

### 1.3.1 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500

8GB RAM および 2 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB の SSD ストレージを提供します。

### 1.3.2 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

### 1.3.3 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 4800.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

### 1.3.4 IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500

8GB RAM および 2 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB の SSD ストレージを提供します。

### 1.3.5 IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

### 1.3.6 IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

### 1.3.7 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex

「BYOL HA Flex プラン」は、高可用性構成で使用する「BYOL 基本 Flex プラン」のレプリカです。これには、サービス「インスタンス」ごとに1つのSQLデータベースとともに、4GB RAM、1つの「コア」、データとログ用の2GBのストレージが含まれます。

### 1.3.8 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability RAM Flex

「BYOL RAM Flex」では、「BYOL 基本 Flex プラン」に含まれるRAM以外に毎月1ギガバイトのRAMが追加で提供されます。

### 1.3.9 IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Storage Flex

「BYOL Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月1ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### 1.3.10 IBM Db2 on Cloud BYOL Flex

この「BYOL 基本 Flex プラン」には、サービス「インスタンス」ごとに1つのSQLデータベースとともに、4GB RAM、1つの「コア」、データとログ用の2GBのストレージが含まれます。

### 1.3.11 IBM Db2 on Cloud BYOL RAM Flex

「BYOL RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるRAM以外に毎月1ギガバイトのRAMが追加で提供されます。

### 1.3.12 IBM Db2 on Cloud BYOL Storage Flex

「BYOL Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月1ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### 1.3.13 IBM Db2 on Cloud BYOL Unlimited IO Flex

「BYOL Unlimited IO Flex」は、「基本 Flex プラン」で使用された「イベント」およびオプション「HA Flex プラン」で使用された「イベント」に対して課金します。

## 1.4 IBM Db2 on Cloud HDMP Flex

IBM Db2 on Cloud HDMP Flex プランは、IBM Hybrid Data Management Platform サブスクリプション・オフリングを購入されているお客様にのみ提供されます。

IBM Db2 on Cloud HDMP Flex プランは、プライベート仮想サーバー上に1つのSQLデータベースを提供します。「仮想プロセッサ・コア」(VPC)の各使用許諾について、サーバーには、1つのコア、最大4GBのRAM、およびデータおよびログに対する2000GBのストレージが含まれ、これらはお客様によって割り当てられます。

上記のコア、メモリー、およびストレージ、あるいはそのいずれかの値には、「クラウド・サービス」のカタログ・ページまたはその他の文書に記載された拡張の上限が適用されます。

## 1.5 追加のサービス

### 1.5.1 IBM Db2 on Cloud Geo-Replicated Disaster Node

フェイルオーバーのために、基本のIBM Db2 on Cloud オフリングと同じ仕様の仮想サーバーまたはベアメタル・サーバーが追加で1つ提供されます。第1.1条「IBM Db2 on Cloud Fixed-Size のオフリング」または第1.2条「IBM Db2 on Cloud Flex のオフリング」または第1.3条「IBM Db2 on Cloud BYOL のオフリング」に記載されたオフリングで使用することができます。

## 1.6 リモート・サービス

### 1.6.1 IBM Db2 on Cloud Jump Start

スタートアップ・アクティビティについて最大50時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには以下が含まれます。(1)ユース・ケースによる支援、(2)レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのベスト・プラクティスに関する指導、(3)初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4)その他管理および構成に関して関心のある主題。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティ」といいます。)  
「サービス」は「エンゲージ

メント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かに関わらず、本「リモート・サービス」の使用許諾の購入日、または「クラウド・サービス」へのアクセスが可能になった旨をお客様が IBM から通知された日のいずれか遅い日から 90 日後に満了となります。

### 1.6.2 IBM Db2 on Cloud Accelerator

「スタートアップ・アクティビティ」、または 1 つ以上の相互に同意した「取引文書」において購入時に明記し、範囲を規定した他の活動の実施について、最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。「サービス」は、「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、全時間数を使用したか否かに関わらず、本「リモート・サービス」の使用許諾の購入日または「クラウド・サービス」の当初サブスクリプション期間の最終日のいずれか早い日から 12 か月後に満了となります。

## 2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=26807B304DE611E69D99A7F65171374C>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

### 2.1 コンテンツおよびデータ保護に関する機能および責任

「クラウド・サービス」には、以下のセキュリティー機能が実装されています。

「クラウド・サービス」のプロビジョニングの際に、1 人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。Db2 on Cloud コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「クラウド・サービス」の外部で実行される IBM Db2 クライアント・プログラムを使用して、「クラウド・サービス」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティー保護されるように

する責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

本「クラウド・サービス」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

「クラウド・サービス」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

## 2.2 医療データに関するコンテンツおよびデータ保護

「1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令」(以下「HIPAA」といいます。 ) および本「クラウド・サービス」で「医療情報」および「医療」データを「個人データの種類」および「個人データの特殊カテゴリー」(以下総称して「医療データ」といいます。 ) またはそのいずれかの許可される使用に関して、本「クラウド・サービス」の「データ・シート」に記載された情報にかかわらず、本「クラウド・サービス」による「医療データ」の使用には以下の制限事項および条件が適用されます。

- a. 本「クラウド・サービス」は、お客様が IBM に、お客様が「クラウド・サービス」で「医療データ」を使用することを事前に通知し、IBM が書面により、「クラウド・サービス」が「医療データ」の使用のためにプロビジョニングされることを確認した場合、「医療データ」の使用に対して「HIPAA プライバシーおよびセキュリティー規則」の制御を実装するためにのみ提供されます。したがって、「クラウド・サービス」は、HIPAA に基づいて保護されている「医療データ」の伝送、保管、またはその他の使用のために使用することはできません。ただし、(i) お客様が IBM にかかる通知を提供する場合、(ii) IBM とお客様が適用される「事業提携契約」を締結している場合、および (iii) IBM がお客様に「クラウド・サービス」を「医療データ」と併用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。
- b. いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「医療データ」を処理するために「クラウド・サービス」を使用しないものとします。

## 3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。 ) を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

### 3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 7 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。 ) に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 25% を超えないものとします。

### 3.2 「高可用性」計画のサービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
≥ 99.99%	0%
< 99.99%	10%
< 99%	25%

\*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

### 3.3 「高可用性」のない計画のサービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
≥ 99.5%	0%
< 99.5%	10%
< 99%	25%

\*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

## 4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、電子メール、オンライン・フォーラム、およびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide ([https://www-01.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_guide.html](https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html)) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

## 5. エンタイトルメントおよび課金情報

### 5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「エンゲージメント」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「クラウド・サービス」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「ギガバイト - 月」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」は、2 の 30 乗バイトです。お客様は、お客様の「取引文書」に定める課金期間中の各月において「クラウド・サービス」で使用され、保管され、または構成された「ギガバイト」の平均数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。この際、端数はギガバイト単位で切り上げます。
- 「イベント」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「イベント」とは、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントが 1 回発生することをいいます。お客様の「取引文書」に定める課金期間中にすべての「イベント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- 「仮想プロセッサ・コア」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「仮想プロセッサ・コア」は、標準容量の仮想化されたプロセッサで、「クラウド・サービス」に割り当てられているものになります。お客様の「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」に対して提供される、または「クラウド・サービス」で管理される、各「仮想プロセッサ・コア」につき十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

## 5.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスの料金は、かかるリモート・サービスの「取引文書」に記載された料金で請求され、リモート・サービスが使用されたか否かにかかわらず、購入から 90 日後に満了となります。

## 5.3 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

## 6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。更新には、見積書に記載されたとおりに年次の値上げが適用されます。「クラウド・サービス」の営業活動終了に関する IBM 通知を受領後に自動更新が行われた場合、当該更新期間は、現在の更新終了または発表された営業活動終了日のいずれか早期に到来する日に終了します。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

## 7. 追加条件

### 7.1 共通事項

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

## 7.2 イネープリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネープリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネープリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。イネープリング・ソフトウェアは、以下の条件で提供されます。

イネープリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Data Server Driver Package v11.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/A13348EC3D451D5F852580890042140B?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/A13348EC3D451D5F852580890042140B?OpenDocument</a>
IBM Data Server Manager Enterprise v2.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/lilookup/F0B7F3B557A73D4C852580830079A197?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/lilookup/F0B7F3B557A73D4C852580830079A197?OpenDocument</a>
IBM Data Studio v4.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/8EE7B373D3B303F085257EC40040DDE0?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/8EE7B373D3B303F085257EC40040DDE0?OpenDocument</a>
IBM Database Conversion Workbench v4.0	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1DB8E7F370D1B84E85257FA3004F99BF?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1DB8E7F370D1B84E85257FA3004F99BF?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere Data Architect v9.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/2BB03C6D51BC9FC385257EC40040DFC5?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/2BB03C6D51BC9FC385257EC40040DFC5?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere DataStage v11.5	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/B94C06F394B45EA685257ECB007716AB?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/B94C06F394B45EA685257ECB007716AB?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere DataStage and QualityStage Designer v11.5	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/C2AAB3F9A435FC1285257ECB00772255?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/C2AAB3F9A435FC1285257ECB00772255?OpenDocument</a>

## 7.3 バックアップ

バックアップは、実稼働インスタンスについて毎日実行されます。IBM はお客様のデータのバックアップ・コピーを最大 2 日間保持します。お客様は、個々のユーザーによるデータの削除を防止するために、「クラウド・サービス」のセキュリティーを構成する責任を負い、当該データが削除された場合には、IBM には当該削除データを復旧する義務がないこと、および可能な場合には、かかる作業について料金を課すことができることをお客様は了承し、同意するものとします。

## 7.4 クラウド・サービスの有効期限

「クラウド・サービス」の満了または終了の前に、お客様は「クラウド・サービス」について提供された報告機能またはエクスポート機能を使用してデータを抽出することができます。カスタム・データ抽出サービスは、別途契約に基づいて提供されます。

## 7.5 Db2 on Cloud BYOL に適用される条件

BYOL (Bring Your Own License) オファリングでは、お客様は、下表に明記された関連 IBM プログラムの適切なライセンス資格を事前に取得する必要があります。BYOL SaaS に対するお客様の使用許諾は、下記の比率で、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾を超えることはできません。

BYOL オファリングには、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。BYOL オファリングのサブスクリプション期間中、お客様は、BYOL オファリングの使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の現在のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の BYOL オファリングを使用する権利は終了します。

下表は、規定された対応する使用許諾に基づいた BYOL オファリングの使用に必要な関連 IBM プログラムの使用許諾の比率の概要を説明したものです。お客様が BYOL オファリングを取得し、BYOL オファリングを使用する間、BYOL オファリングの使用に適用される関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾は中断され、お客様はそれ以降、当該使用許諾を使用して、関連 IBM プログラム (規定された例外の対象) をデプロイすることはできません。

関連 IBM プログラム	BYOL オファリング	比率 n/m*
IBM Db2 Advanced Enterprise Server Edition	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500</li> <li>b. IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400</li> <li>c. IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000</li> <li>d. IBM Db2 on Cloud BYOL Flex</li> <li>e. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500</li> <li>f. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400</li> <li>g. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 48.1000.10000</li> <li>h. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 比率: 140 PVU / 1 インスタンス</li> <li>b. 比率: 840 PVU / 1 インスタンス</li> <li>c. 比率: 3360 PVU / 1 インスタンス</li> <li>d. 比率: 70 PVU / 1 インスタンス</li> <li>e. 比率: 240 PVU / 1 インスタンス</li> <li>f. 比率: 940 PVU / 1 インスタンス</li> <li>g. 比率: 3460 PVU / 1 インスタンス</li> <li>h. 比率: 170 PVU / 1 インスタンス</li> </ul>
IBM Db2 Advanced CEO IBM Db2 Developer Edition	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500</li> <li>b. IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400</li> <li>c. IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000</li> <li>d. IBM Db2 on Cloud BYOL Flex</li> <li>e. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500</li> <li>f. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400</li> <li>g. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 48.1000.10000</li> <li>h. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex</li> </ul>	比率: 1- N の許可ユーザー / 1 インスタンス**/**

\* 「比率 n/m」は、関連 IBM プログラムに対して示された測定基準の使用許諾数ごと (以下「n」といいます。) に対して、お客様が当該使用許諾を、BYOL オファリングに対して示された測定基準について記載された数 (以下「m」といいます。) の使用許諾に適用できることをいいます。

\*\* Db2 Advanced CEO Offering および Db2 Developer Edition に関する例外: 上記の条件にかかわらず、お客様が Db2 Advanced CEO Offering または Db2 Developer Edition のいずれかの「許可ユーザー」使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様の「許可ユーザー」使用許諾の合計は、その数量に関係なく、BYOL オファリングに対する 1 つの「インスタンス」使用許諾に適用できます。ただし、以下の追加条件に基づきます。(1) お客様は、お客様による BYOL オファリングの使用と同時に、お客様による関連 IBM プログラムのデプロイメントに対してすべての「許可ユーザー」使用許諾を引き続き使用できますが、(2) お客様が関連 IBM プログラムに対して使用許諾を有する「許可ユーザー」のみが BYOL オファリングにアクセスしたり、使用したりできることが条件となります。

\*\*\* Db2 Developer Edition の例外: 上記の制限に加え、お客様が Db2 Developer Edition の使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様による BYOL オファリングの使用は、「非実稼働」使用のみに制限されます。「非実稼働」とは、BYOL オファリングが、お客様の内部非実稼働活動用のお客様内部の開発およびテスト環境の一部としてのみ、使用することができることをいいます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の BYOL オファリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。